

2015年4月16日

「カリフォルニア サクラメント 3 (CA3) データセンター」の提供開始について

～米国カリフォルニア州において最大規模のデータセンターをさらに約40%拡大～

NTTコミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、2015年4月17日より、米国においてデータセンター関連サービスを提供するNTT Comグループ会社RagingWire Data Centers(略称:RagingWire社)を通じて、約130億円を投じた「カリフォルニア サクラメント 3 (CA3) データセンター」の提供を開始します。本データセンターは、米国カリフォルニア州の州都サクラメントに位置し、サーバールーム面積約6,400m²(2,800ラック相当)を提供します。

1. 背景

活発なICT産業や、企業のクラウド利用など、ICT環境のアウトソース拡大を背景に、全世界におけるデータセンター市場の50%以上を占める米国では、年間約19%の市場成長が続いています。NTT Comは、米国において9拠点のデータセンターを提供中であり、RagingWire社はそのうち東海岸のバージニア州アッシュバーンに1拠点、西海岸のカリフォルニア州サクラメントに2拠点のデータセンターを展開しています。また、コロケーションサービスの直販やホールセール(設備卸売)への旺盛な需要に応えるため、2014年9月に「バージニア アッシュバーン 1 (VA1) データセンター」のサーバールーム面積を約6,700m²に拡張するとともに、2015年末の提供開始に向けて、「バージニア アッシュバーン 2 (VA2) データセンター」(サーバールーム面積約7,400m²)を建設中です。

今回、NTT Comは、お客さまのさらなるご要望にお応えするため、サクラメントで3つ目の「カリフォルニア サクラメント 3 (CA3) データセンター」の提供を開始します。これにより、米国におけるNTT Comのサーバールーム総面積は約46,800m²に拡大するとともに、引き続き、お客さまの経営改革に貢献するため、米国をはじめ、世界主要拠点にグローバルシームレスなデータセンターサービスの拡充を図っていきます。

(別紙1) 米国におけるデータセンター拠点およびサーバールーム面積

「カリフォルニア サクラメント 3 (CA3) データセンター」の外観イメージ



NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室

NTT Communications Corporation Public Relations Office

〒100-8019 東京都千代田区内幸町 1-1-6

1-1-6 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan

Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

2. 概要・特長

カリフォルニア州サクラメントは、高信頼かつ割安な電力供給環境、州の税制優遇、空港などの交通機関や豊富なネットワーク接続環境が整っているため、シリコンバレーやベイエリアよりも低コストでデータセンターの運用が可能です。

また、米国西海岸の地震危険ゾーンとは、地質プレートが離れた安定した地盤上にあり、自然災害のリスクも低いエリアです。本データセンターを建設した RagingWire サクラメント キャンパスは、サクラメント国際空港から車で約 15 分という便利な場所にあり、カリフォルニア州のデータセンターでは最大規模を誇ります。

(別紙 2) 「カリフォルニア サクラメント 3 (CA3) データセンター」の標準仕様

(1) ダウンタイムゼロを保証する可用性 100%の SLA

本データセンターは、Nexcenter™*1 が定める 300 項目以上のグローバル統一設備・運用基準に準拠し、電力・空調・通信設備の冗長化やテロにも強い充実したセキュリティをはじめ、電力供給 100%を保証する SLA (サービスレベル保証) を備えた世界トップクラスのサービスを提供します。

最大 20kW/ラックの高密度電力供給、空調設備や通信回線引き込みの冗長化に加えて、RagingWire 社が特許取得済の 2N+2[®]アーキテクチャによる、設備メンテナンス時においても完全冗長性を保ちながら電力供給を可能とするシステムなど、万全な設備運用の体制と併せて業界最高基準の Tier IV レベル以上の極めて高い可用性を提供します。このように卓越した品質を提供する本データセンターは、ミッション・クリティカルな金融機関や米国内にデータ拠点を求めるグローバル企業、ベイエリアやシリコンバレーの IT 企業などのお客さまに最適です。

(2) 効率的なデータセンター設備の設計・運用による低コスト/グリーン化を推進

RagingWire 社は、電気設備、空調設備や通信設備などの構築・運用を自社で対応可能なライセンスを保有し、専門の主任技術者を多数擁していることから、より高品質な設備を低コストでお客さまに提供することが可能です。

また、RagingWire 社が開発したデータセンター設備管理システム N-Matrix™を導入しており、電力使用状況の監視や設備の冷却を自動管理するなど、効率的な設備管理を実施します。加えて、電気空調コストをさらに低減する外気冷房システムの導入、米国環境保護庁 (EPA) が定める「ENERGY STAR」認定を受けた設備の採用などにより、低コスト運用を実現するとともに、米国グリーンビルディング協議会による「LEED」認証に対応した環境に配慮したデータセンターを提供します。

(3) 各種認証に準拠した安全かつ柔軟な運用サービス

本データセンターは、クレジットカード業界のグローバルセキュリティ基準である「PCI DSS」、米国連邦情報セキュリティマネジメント法に基づく情報保護ガイドライン「FISMA」や米国医療情報保護ガイドライン「HIPAA」に準拠するほか、「SSAE16/ISAE3402」による内部統制に関する有効性証明書を取得予定です。またオンサイトスタッフによる各種マネージドサービスやリモートハンドサービスなど、安全かつ柔軟な運用サービスを提供します。

館内には、BCP オフィスとして利用が可能なレンタルオフィスのほか、会議室、無線 LAN、ラウンジ、キッチン、スポーツジム、シャワールームなど快適なアメニティ施設も備えています。

*1 : データセンターサービスブランド「Nexcenter™」

「高品質」「柔軟性」「コスト効率性」を統合した次世代データセンターサービスで、お客様のビジネスを加速します。

Nexcenter

(参考) RagingWire 社について

RagingWire 社 (本社 : 米国 カリフォルニア州サクラメント CEO : George Macricostas) は現在従業員約 300 名以上を擁し、2000 年の会社設立以降 15 年間にわたり、米国でデータセンターサービスを提供する、米国における業界のリーダーです。Polycom 社や NVIDIA 社など ICT 企業を中心に約 200 社以上に対する高品質サービスの提供実績があります。

(別紙1)

米国におけるデータセンター拠点およびサーバールーム面積



Nexcenter

Copyright © NTT Communications Corporation. All right reserved.



Global ICT Partner
Innovative. Reliable. Seamless.

別紙2：「カリフォルニア サクラメント 3 (CA3) データセンター」の標準仕様

| | | |
|-------------------|---|---|
| 所在地 | カリフォルニア州 サクラメント サクラメント国際空港から車で約 15 分 西海岸のベイエリアやシリコンバレーから車で約 2 時間 | |
| 建物 | 延床面積 | 約 16,700m ² (2,800 ラック相当) |
| | 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 2 階建て |
| | 二重床耐荷重 | 約 1,500Kg/m ² |
| 電力設備 | 受電 | ループ受電 総受電容量:20MW IT 機器向け電源容量:14MW |
| | 非常用発電装置 | N+2 冗長構成 24 時間以上無給油運転可能 |
| | UPS | 2N+2 冗長構成 バッテリー保持時間 10 分以上 |
| 空調設備 | 水冷式 N+2 冗長構成 外気冷房導入 | |
| 二重床高 | 36 インチ (約 914mm) | |
| 消火設備 | 早期煙検知器 煙感知/熱感知装置 予作動式スプリンクラー | |
| セキュリティ設備 | IC カード、PIN コード、虹彩認証、セキュリティゲート、建物防壁柵、高機能監視カメラ、ラック個別施錠等の設備 金融機関などのお客さまが必要とする高セキュリティカスタマイズが可能 | |
| その他設備 | レンタルオフィス、会議室、無線 LAN、ラウンジ、キッチン、スポーツジム、シャワー室、駐車場 | |
| 通信環境 | キャリアニュートラル RagingWire の各データセンターと接続、一体運用が可能 | |
| 保守・運用サービス(24/365) | 機器監視、技術サポート、セキュリティ、通信、ストレージ、プロジェクトマネジメントサービスなどの関連サービスが利用可能 | |
| 各種認証(取得予定含む) | SSAE 16, PCI DSS, LEED CERTIFIED, HIPPA, FISMA EPA ENERGY STAR 認定設備導入 | |